



シルバー人材センター
キャラクター「チエフクロ」

高齢者が働くことに生きがいを感じ、地域社会に貢献する

VOL. 16

令和元年8月1日号

NARITA

銀のたまご



会員による施設案内(三里塚記念公園 貴賓館で)

特集 公共施設管理

働くことで地域社会へ貢献

公益社団法人 成田市シルバー人材センター

公共施設管理

働いてくいで地域社会へ貢献



駅前通りでの清掃業務



中郷公民館での窓口業務

市内には成田市が所有管理する公共施設が数多くあり、その種類も形態もさまざまです。シルバー人材センターでは、これらの管理業務を積極的に請け負うことで組織の目的でもある「地域社会への貢献」を果たしています。今回は公共施設管理で活躍するシルバー会員をご紹介します。

小規模業務をシルバーで

全国各地のシルバー人材センターでは、国の高齢者就業機会確保事業により行政からさまざまな形の支援を受けています。本センターも成田市より資金面の援助のほか公共施設管理でも多くの就業機会の提供を受けています。

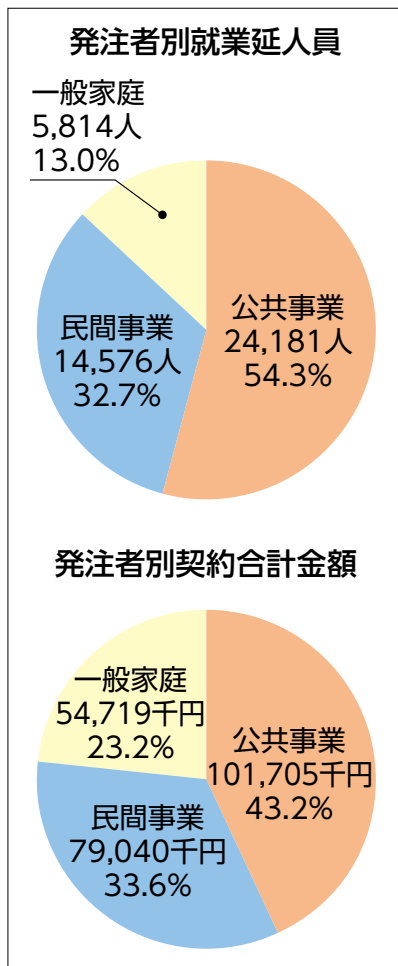
現在、成田市が所有管理する公共施設は建物だけでなく公園や道路など多種多様で、これらに付随する管理業務の量も相当数のにぼります。また、その規模も小さくさまざま、トイレの清掃や通路の掃き掃除など少人数で短時間の就労で済む小規模の管理業務も少なくありません。こうした業務は営利を目的とする

民間の事業形態に合わないものも多く、本センターではそれらを中心に市から管理業務を受託しています。

シルバー人材センターを活用した公共施設管理は、高齢者雇用の拡大につながるだけでなく、経費節減の面からも大きな効果が見込めるため、今後も市からの業務委託は増加することが期待されます。

公共業務に約24,000人

本センターが、昨年度成田市(13課)や市が関係する団体から受託した施設管理業務は35件で、これらに単発の業務となる公共用地の除草や小中学校などの除草および植木剪定などを加えると、就業延人員は24,181人となり、シルバー人材セン



ター全体の就業延人員の54・3%にも上ります。また契約金額でも全体の43・2%を占めています。(左表参照)

シルバー会員の仕事といえば植木剪定や除草が中心と思われるがちですが、左表を見れば分かるようにこれらの業務が含まれる「一般家庭」の割合は、就業人員も契約金額も全体の2割前後でしかありません。本セ



下総運動公園での清掃業務

ンターにとって公共施設は大変重要な就業先といえます。

管理施設も多種多様

公共施設管理には建物の中で受付などの業務を行うものと、道路や公園といった屋外で業務を行うものがあります。

建物関係の管理としては、市内各公民館(受付)、赤坂ふれあいセン

ター(受付・清掃)、美郷台地区会館(受付他)、勤労会館(受付)、保健福祉館(受付)、中台体育館(見回り等)、大谷津運動公園(清掃)、三里塚記念公園防空壕・貴賓館(見回り・清掃)、滑河ステーションホール(清掃)などで主に窓口業務や清掃業務の一部を行っています。

道路を含む施設関係の管理では、JR・京成成田駅および京成公津の杜駅周辺道路と通路(清掃)、JR・京成成田駅エレベータ、エスカレータ(運行管理)、成田市場(保守)、成田霊園(清掃)、駅周辺駐輪場(整理・受付・清掃)、北羽鳥多目的広場(清掃)、下総運動公園(清掃)、駅周辺ポケットパークと喫煙所(清掃)などがあります。

市の公共施設は本センターが部分的に管理するものだけでこれだけの数に上ります。

豊富な社会経験を活かす

公共施設管理は、高齢者の就業確保と働くことで地域社会へ貢献することを主な目的とするシルバー事業にとって最適の業務といえます。市の施設で就業し、そこで市民に対するサービス業務を行うことは、正に「地域社会への貢献」そのものであるからです。特に、公民館などの受

付業務については、会員の豊富な社会経験を活かすことの出来る仕事で、多くの会員が就業しています。

また、シルバー事業は高齢者の就業による生きがいづくりを、主な目的としています。そのため本センターでは、たとえ少人数で短時間の就労でも就業する会員がいれば市等からの業務依頼に応じています。

さまざまな研修を実施

経験豊富なシルバー会員といっても公共の施設で働く以上、市民からは市職員と同等の対応が求められます。そこで本センターでは会員の接遇研修や技能研修を行うことで市民サービスの向上に努めています。

その他にも会員自身が学習し、業務に活かしている施設もあります。次項では会員がボランティアで施設案内を行っている三里塚記念公園の事例を紹介します。



AED講習会

公共施設管理

三里塚記念公園



①



②

- ①施設管理をする4人の担当者
- ②貴賓館の雨戸開閉
- ③貴賓館の清掃
- ④防空壕入口の開閉
- ⑤防空壕をモニターでチェック



⑤



④



③

公園内に歴史的建造物

「防空壕及び貴賓館の管理」。これは本センターが成田市公園緑地課から委託を受けている管理業務の件名です。両方とも三里塚記念公園の中にある施設であり、通常の公園にはまず有り得ない建造物ですが、これにはこの場所の歴史が深く関わっています。

現在公園として整備されている場所は、明治時代に開設された宮内庁下総御料牧場の跡地で、貴賓館は各国大公使を招いての園遊会や皇族の宿舎として使われていました。また、防空壕については詳しい資料はないものの、戦時下に皇太子(現上皇)の避難施設として作られたとされる謎の多い建造物です。

昭和44年、成田空港建設に伴う御料牧場の移転を機に、事務所跡地の約3万㎡を成田市が公園として整備したもので、防空壕と貴賓館については平成23年より現在のような形による一般開放が行われるようになりました。

一部をシルバーで管理

広い敷地内には、三里塚御料牧場記念館(資料館)を中心に、記念碑や銅像など多くの建物等がありますが、

貴賓館と防空壕

貴賓館は当初下総牧羊場の官舎として現在の富里市両国に建てられました。明治21年、牧羊場が取香種畜場と合併して「宮内庁下総御料牧場」と改称され三里塚に移ったとき一緒に移築されました。

その後大正8年に内部を大改装し、室内装飾には洋風を取り入れるなど和洋折衷様式の建物として生まれ変わりました。明治中期の建築物として大変貴重なもので、中でもギリシャ風のホール北側から見学可能は貴賓館にふさわしい豪華さを誇っています。

防空壕については正式な資料はありませんが、地元の話や建設を担当した間組の社内記録、皇室関係者の残した記述などから、皇族の退避施設として昭和16年に完成した建造物のようです。

終戦とともに防空壕としての使命を終え、御料牧場の一角にありましたが牧場の移転とともに成田市が公園として整備したため、安全上の観点から昭和50年頃に入出口が封鎖されました。公園の土地所有者である国(関東財務局)の台帳にも記載されていないという謎の施設です。

両施設は、ともに地元の要望により観覧化に向けた整備が行われ現在に至っています。

本センターでは防空壕と貴賓館だけを管理しています。

業務日は、年末年始と月曜日を除く毎日(記念館の開館日と同じ)で、勤務時間は午前8時30分〜午後5時となっています。これを1日一人で4人の会員が交代で行っています。業務の内容は、施設の破損や不審物の発見・通報といった見回り業務と施設の管理ですが、歴史的な価値の高い建造物であるため作業には細心の注意が求められています。

明治建築の貴賓館

この施設については、見回りや建物周辺の掃き掃除(写真③)、雑草取り、ゴミ拾いのほかに、門扉の開閉(午前9時に開け午後4時30分に閉める)、雨戸の開閉、ガラス戸の開け立て、館内の清掃といった管理を行っています。

清掃は週一回。畳や床に掃除機をかけたり板の間や洋間の拭き掃除をしたりしています。窓も拭きますが貴賓館は明治時代に建てられたもので、今では製造されていないガラスが使われているため特に気を付けています。

また建物そのものが皇族仕様となっているため一般家庭には無いような造りのものも随所に見られ、雨戸一つとっても慣れないと開け閉め

するのに一苦労します。戸を滑らす部分が途中で直角に曲がっている構造になっているため、会員はコーナーで雨戸を90度回転させて開けたり閉めたりしています。(写真②)

廊下のガラス戸は、ほこりが入らぬよう風のない日に開閉しますが、それでも春先は強風による土ぼこりがひどく清掃には特に力を入れています。

謎の防空壕

現在は出入り口部分に管理用建屋を設け、一般の人が内部を見学できるようにになっています。通常は施錠(写真④)してありますが、見学者が来た時にシルバー会員が開閉を行うことになっています。

観覧中の事故を防ぐため、記念館(資料館)に防空壕内部を映し出すモニター画面(写真⑤)があり、これをチェックするのも会員の役目です。近年は全国各地に残る戦時中の遺構に興味を持つ人も多く、この防空壕についてもインターネットなどを見て訪れる人もいます。

見学者案内も

市の管理業務内容には明記されてはいませんが、「来場者に対する適切な対応」ということでシルバー会

員が実施しているのが見学者に対する施設案内です。見る人の立場に立った発想から会員が独自に始めたもので、御料牧場や貴賓館などの歴史について自ら勉強して見学案内に努めています。

特に貴賓館については、通常は建物の外から内部を見るだけとなっていますが、会員が中の構造や調度品などについての解説も行うため、見学者に喜ばれています。

三里塚記念公園に興味を持たれた方は是非一度ご来場ください。シルバー会員が親切丁寧に施設の中をご案内します。

「施設案内が大変好評です」



成田市公園緑地課
ふじた たまさ 主査
藤田 多牧

シルバー会員の皆さんには平成23年から貴賓館と防空壕の管理をお願いしています。それまでは地元の愛護会の皆さんに貴賓館の戸の開け閉めなどをお願いしていましたが、会員の高齢化もあり、防空壕の観覧開始に合わせシルバー人材センターさんにお任せしようということになりました。

会員の皆さんには市民目線での管理をしていただけて本当に助かっています。特に施設案内は見学者から大変好評で公園のイメージアップにもなっています。これからもシルバー会員の豊富な社会経験を生かしたきめ細かな対応に期待しています。

●公園見取図





公益社団法人成田市シルバー人材センター

令和元年度定時総会を開催

元号が「令和」に変わり、初めての定時総会が、6月17日、午後2時より成田市保健福祉館多目的ホールにおいて小泉一成成田市市長、水上幸彦成田市議会副議長、谷平稔成田市高齢者クラブ連合会長、木下敬福祉部長を来賓に迎えて開催されました。

主催者として最初に挨拶に立った下村精哉理事長は、センターの現状課題に対する今後の取り組みについて述べるとともに、「生涯現役社会を実現するためにはシルバー事業の果たす役割は大きいものと痛感している。会員、役員が協力し、自主・自立・共働・共助の基本理念を念頭に地域に密着したセンターになるよう努力して行かなければならない」と参加者に訴えました。

続いて来賓として登壇した小泉成



下村理事長



田市長からは市政運営の協力に対する感謝の言葉に続き高齢者の就業意欲の現状やシルバー人材センターの重要性などに触れるとともに、成田市に根付いた幅広い活動に期待する旨の挨拶がありました。また、同じく来賓として臨席した水上成田市議会副議長からは社会福祉の向上に向けた取り組みに対する支援と協力を

求める旨の挨拶が続きしました。

総会では、定款第16条の規定により下村理事長が議長に選出され、事務局による定足数の報告(議決権所有会員数498名、出席会員数92名、委任状・議決権行使書提出会員数321名)、定足数充足及び議事録署名人の確認を行い、開会が宣言されました。

総会の議事としては報告事項が4件、決議事項が3件で、それぞれ事務局より説明が行われました。

上程された報告および決議事項は次の通りです。

報告事項

1. 平成30年度収支補正予算の件
2. 平成30年度事業報告の件
3. 令和元年度事業計画の件
4. 令和元年度収支予算書等の件

決議事項

- 議案第1号
平成30年度貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)及び財産目録承認の件 (監査報告)
- 議案第2号
理事1名選任の件
- 議案第3号
公益社団法人成田市シルバー人材センター役員報酬等及び費用に関する規定の一部改正の件

遅滞未収金についての質問がありました。特に問題となるようなこともなく、提出された3議案は出席会員多数の賛成によりすべて原案のとおり可決され、令和元年度総会は無事終了しました。

※昨年理事が1名辞任したため、選任に関する議案が提出されました。

なお、任期は残任期間の令和2年定時総会終結の時までです。

常務理事に山下昌起氏



総会後に開催された臨時理事会において、新しく理事となった山下昌起氏が常務理事に選任されました。なお、氏はセンター事務局長も兼任することとなります。

お知らせ

本センターの下村精哉理事長(千葉県シルバー人材センター連合会会長)は、今年6月に行われた全国シルバー人材センター事業協会定時総会において同協会理事に選出されました。

会員の声

「好奇心のかたまり」

飯田幸子さん(成井)



わたしはシルバーに入会して13年が経ちました。前の仕事を退職し、特に何もすることがなかったのでシルバーに入って何か仕事があればいいなと思いい入会しました。

会員になってしばらくすると、草取りの仕事がポツリポツリと入ってくるようになりました。今までは家の草取りをする程度でしたが、仕事でやるとなるといろいろな種類の鎌の使い方や、その鎌の研ぎ方など勉強することがたくさんあり驚きました。今ではどのような取っ手に行けば効率よくできるかなどを考えながら作業をしています。また、最近の夏の暑さはとても厳しく、こまめに水分・塩分補給をして熱中症にならないように気をつけています。休憩時間でお客様と一緒に働く仲間との

おしゃべりなどの楽しみもあります。が、作業を終えた後にお客様に喜んでいただいた時の満足感を味わうと「これからも頑張ろう」という気持ち湧いてきます。

就業のない時や冬場の就業が少ない時は、図書館に行きノンフィクションや歴史物の本を借りて読んでいます。読書は心が落ち着いているですね。他にも興味を持っていることはたくさんあって、歌舞伎や相撲を見に行ったり、旅行に行ったりしています。様々なことをしているわたしを見た友人から「好奇心のかたまりだね」と言われたことも。これからもシルバーの仕事をしながらかくさんのことに挑戦して行きたいと思っています。



草取りの七つ道具

サークル紹介 パークゴルフ愛好会

皆さんはパークゴルフをご存知ですか。公園で幅広い年代の人ができるスポーツとして、1983年に北海道幕別町で生まれました。芝でおわれたコースで、クラブでボールを打ち、カップインするまでの打数を競い合いながら楽しく遊べるスポーツです。

このパークゴルフを通して会員同士の親睦を深めようと、平成28年10月に足立正明会員を会長に、シルバー会員32名により設立されたのが今回ご紹介する「パークゴルフ愛好会」です。

会の主な活動は、市内の久住パークゴルフ場と十余三パークゴルフ場で行う月に4回の練習会と、年間3〜4回程度の大会開催だそうです。また、シルバー祭りの「パークゴルフ大会」では、参加者の募集や当日の大会運営の補助も行い、センター活動を支援しているとのことでした。



足立正明会長

会公認指
導員の足
立会長が
毎回参加
し一緒に



多くの人が参加する主催大会(久住P.G場で)

プレーや技術指導をしているそうですから、これからパークゴルフを始めたいと思っっている方は是非一度体験してみたいかがでしょうか。

大会はこれまでに十余三と久住両パークゴルフ場で、合わせて14回ほど開催。シルバー事業に協賛する方なら誰でも出られ、参加者全員に和菓子やお米の賞品を用意するため、今では「シルバー人材センターの大会」としてパークゴルフ愛好家に大変喜ばれているそうです。

足立会長によると、愛好会の大会には毎回多くのシルバー会員以外の人々が参加するため、最近はシルバー人材センターのPRとしてもやりがいを感じているとのことでした。

わたしの趣味 —春蘭—

山田 民雄 会員(玉造)

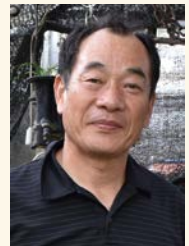
20代の頃から盆栽が好きで、サツキブームの時には夢中になっていましたが、仕事柄、水やりが大変で枯らしてしまうこともありました。そこで、水やりが少なくてすむ春蘭ならどうかと、友人の伯父さんで多くの品種を登録していることで有名だった中島五郎さんを訪ねたのが栽培を始めたきっかけで



植え替え後の春蘭

す。その時、色々な花や葉に柄が入った蘭を見せてもらったのですが、それが全部山で採れたものだと聞いて驚きました。その

後、中島さんから3品種の春蘭をいただきました。当時(35年くらい前)はとても高価で、自分の給料ではなかなか買うことができませんでしたからとても嬉しかったですね。



中島さんは訪ねるたびに植え替えなどを教えてくれ、時にはその春蘭を持たせてくれることもありました。それからはどんどん春蘭の魅力にはまり、山採りにも行き始めました。

今ではたくさんの種類の春蘭を800鉢ほど栽培、その名のとおり春になるとさまざまな形の花が咲きます。毎年植え替えをして大事に育てた春蘭を展示会に出品し、多くの人にその魅力を伝えたいと思います。

事業実施状況報告

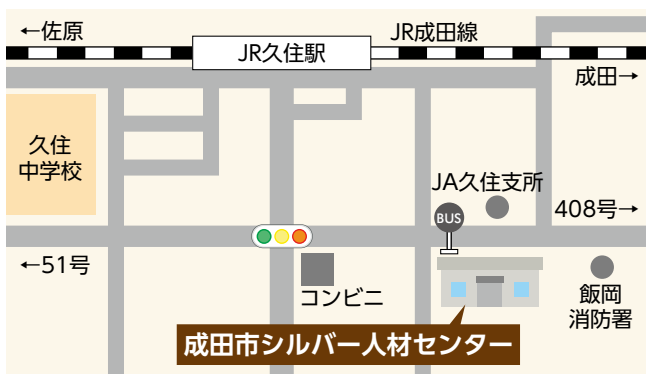
事業実績報告		平成29年度	平成30年度
会員数	男	392人	372人
	女	104人	97人
	合計	496人	469人
就業実人員		481人	458人
就業率		97.0%	97.7%
受託件数	公共機関	559件	548件
	民間企業	888件	866件
	一般家庭	2,018件	1,988件
	合計	3,465件	3,402件
契約金額		232,668千円	235,464千円

会員数は微減、契約金額はほぼ横ばい

平成29年度と比較すると会員数は全体で27名の減となりました。会員の高齢化も進んでいることもあり、退会理由は病気や加齢が全体の44%でした。また、女性会員も100人を割ってしまい女性会員の拡大が課題となっています。

契約金額は単価の上昇により、受託件数は減ったものの2,795,365円の増になりました。

梅雨明けからお盆にかけては除草作業や植木の剪定の受注が非常に多く、1~2カ月待ちの状態が続きました。



編集・発行 公益社団法人 成田市シルバー人材センター 広報部会
 〒286-0819 成田市久住中央1丁目12番地3
 TEL 0476-36-6161 FAX 0476-36-6711
<http://webc.sjc.ne.jp/narita/index>
 E-mail: narita@sjc.ne.jp

〈受付時間〉
 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
 (土日・祝日、年末年始除く)



編集後記

特集の取材で久しぶりに三里塚記念公園に行ってきました。以前は仕事の関係でよく訪れていましたが、最近はその道路を車で通過する程度。早目に着いたので会員に会う前に公園を一巡りしようとして正門に。いつもながら、ここから見るトチノキの並木には圧倒されてしまいます。特にその幹の太さや樹高に驚かされますが、意外と知られていないのが初夏に咲く白い大きな花。咲いている場所が高すぎて目に入らないせいかもしれません。そんな木々に包まれた貴賓館や資料館の景観も素晴らしいものです。この時の取材については本文のとおりですが、百聞は一見に如かず、やはり現地に行かれるのが一番だと思います。